

特集.5 《大洲市》

進化し続ける長高水族館、 「夢の長浜水族館」復活も 近い！

愛媛県立長浜高等
学校水族館部顧問

重松 洋



大人気！カクレクマノミ

長高水族館といえば、チーム・ニモ。現在3年生の重松夏帆さんと山本美歩さんは、科学技術振興機構の「中高生の科学部活動振興プログラム」、日本科学協会の「サイエンスメンター制度事業」の支援を受け、1年生より研究を続けてきました。そして、

●研究で日本一、世界大会では4等を受賞。今年はシンガポールへ！

その後の研究に期待を寄せていた方も多しはず。今回の研究は、昨年の研究を進化させたもので、クラゲ予防クリームの試作や、クラゲの学習について明らかにしており、7月にシンガポールで開催される世界大会に出場します。これは、Global Link Singapore 2016（グローバル・リンク・シンガポール）と呼ばれる世界大会で、アジア地域を中心とする世界各国の中高生が、科学や国際課題に関する考えや研究成果を、英語を使って国際舞台で発表し、競い合う大会です。2人はこの世界大会の予選を兼ねて今年3月に開催された、「つくばScience Edge

2014年12月に、カクレクマノミがイソギンチャクに刺されないのは、体表粘液中のマグネシウムイオン濃度に関係があることを発見し、第58回日本学生科学賞にて日本一の内閣総理大臣賞を受賞しました。



ISEF2015 4等受賞！

サイエンスアイデアコンテスト」に出場し、国内外の154チームから見事ベスト3にあたる「未来指向賞」を受賞し、シンガポールへの派遣を決めました。次なる大舞台での活躍もご期待下さい！



つくばサイエンスエッジにて
未来指向賞受賞！

●環境分野でも活躍

長高水族館は、昨年度愛媛県主催のESD環境教育プロジェクト事業の採択を受け、水族館活動の充実を図りました。



一般公開日は水族館部員が解説します

そして今年2月、食料・水・環境の分野で問題解決に取り組む個人や団体を顕彰する「第5回毎日地球未来賞」において、全国3位の「次世代応援賞」を受賞しました。長

高水族館は、毎月第3土曜日の一般公開や地元の子どもたちを対象とした臨時公開などを通して、これまで7万人を超える来館者に環境教育の場を提供しており、このことが高く評価されました。また水族館一般公開日には、家庭クラブの生徒がアクセサリーづくりなどのワークショップを行い人気を博しており、集まった多くの人に水環境などについて学んでもらう取組もしています。

●カフェもオープン、ゆるキャラグランプリにも参戦！



長高ガーデン・カフェ

混みあう館内から、お客様を中庭へ連れだし、生演奏を聴きながらコーヒーを楽しんで頂きたい！これまで「大洲市がんなばるひと応援事業」により整備してきた中庭で、ガーデンカフェをオープンしています。池の上のステージでは、ブラスバンド部の生徒が演奏し、水族館部顧問がギターを奏でます。さらに、演奏だけでなくダンスなどのパフォーマンスも計画しています。コーヒーのお供には、ビジネスコースの生徒が企画販売する「水族パ



ゆるキャラグランプリに出場！

つらいにゃんとセンくん 応援してね！

ン」がおすすめ。お昼頃に限定100個程度販売し、あつという間に売り切れまです。高校から歩いて3分の長浜商店街では、商業部がお手伝いする「赤橋自遊空間」と呼ばれるフリーマーケットも開催中です。たこ焼きや湯だめうどんの他、月替わりでいろんなお店が出店します。また今年のゆるキャラグランプリは、地元愛媛で開催され、これを盛り上げようと、長高水族館のゆるキャラ「つらいにゃん」が参戦することになりました。早速つらいにゃんからメッセージが届いています！「ボクはつらいにゃん。ネコで有名な大洲市青島から、海を渡って長浜にやって来たよ。長高水族館を見学していたら、大きなカクレクマノミのクマミンに頭をかじられちゃったんだ。つらいにゃん。でも、これから大好きな長浜の町と長高水族館を盛り上げるためにがんばるにゃん！ポッケには、ボクの相棒、センジュイソギンチャクのセンくん

●長浜水族館復活に向けて

が暮らしているんだ。」ゆるキャラグランプリの投票開始は、7月22日(金)からです。可愛さでは、絶対負けません。つらいにゃんを応援してね！

今年1月、地域活性化に挑む団体を支援しようと、地方新聞45紙と共同通信社が設けた「第6回地域再生大賞」にて、長高水族館は愛媛県代表に選出され、全国優秀賞を受賞しました。また国の地方創世交付金を受け、「水族館活動を通じて、地域活性化に貢献する人材の育成」をテーマに活動しました。そして、水族館と地域のPRを目的としたプロモーションビデオ3作品を制作しました。YouTubeで「長浜地区プロモーション映像」を検索してみてください。中でも「ブレシャスライツ」は渾身の作品で、地域住民と長浜高校生の心あたたまる交流が最高の演出で描かれています。今年3月には、プロモーションビデオのお披露目を兼ねたイベントとして、水族館プロデューサーの中村元氏による講演会を開催し、その中で水族館部の生徒が「夢の水族館」と題し、将来復活するであろう長浜水族館像を発表しました。高校生の熱い思いは地域住民に伝わり、水族館復活に向けた署名を大洲市に提出するなど、大きなうねりとなっています。